

# 地域医療の現場から

98

7月、今年国内で新たに  
がんと診断される人の数が  
100万人を超える予想だと  
国立がん研究センターが発表  
しました。部位別では大腸が  
んが最も多く、次いで胃が  
んとなるだろうとされていま  
す。

最新がん統計(2011年)  
によると、一年間に診断され  
たがんのトップは胃がんだっ  
たことがわかっています。胃



セコメディック病院  
外科

加納 良彦

がんは東アジアに多く、その  
理由の一つとして、ヘリコバ  
クター・ピロリ菌という胃の  
中にいる細菌による慢性胃炎  
が多いためと言われています。  
日本人の約半数は胃にピ  
ロリ菌がいるとされ、粘膜が  
長い年月炎症にさらされ傷つ  
き続けた結果、一部の細胞が

## 若い人ほど、胃の検診を

「がん細胞」に変化すると考  
えられています。慢性炎症に  
よって粘膜が傷ついてポロポ  
ロになってしまいう前にピロリ  
菌を除菌することで胃がんに  
かかるリスクは減らすことが  
できると考えられています。

つまり、炎症にさらさ  
れた期間がまだ短い若い  
人ほど除菌をする効果が  
高いのです。「がんは年  
をとってからかかるもの  
」とか、「病気のことな  
らば考えられない」とか  
思っている若い人ほど慢  
性胃炎の有無をチェック

するべきなのです。  
では、ある程度高齢に  
なって、すでに慢性の炎  
症に長期間さらされてし  
まった人はどうすればい  
いのでしょうか。胃に発生  
したがん細胞は、時間と  
ともに大きな塊へと成長  
し、ある時点で一部のが  
ん細胞が胃から離れて周

### 医療講演会

### 「胃がんのお話」

9月30日(金) 14時/船  
橋アリーナ/講師:加納良  
彦医師/無料/予約不要  
/Tel. 457-9900

囲のリンパ節や肝臓・肺など  
他の臓器へと飛んで行ってそ  
れぞれの場所で悪さを始めて  
しまい、最終的には手がつけ  
られなくなってしまう。  
胃がんは早期に見つけるほ  
ど根治を期待することができ  
ます。特に早期がんの一部は、  
お腹を切ることなく、内視鏡  
でがんを取り除くことで根治  
が出来ます。早期発見・治療  
のための定期的な検診が重要  
ということですね。